



Exchange メールボックスを移動、復元する

• [Moving and Restoring Exchange Mailboxes](#) (1 ページ)

Moving and Restoring Exchange Mailboxes

概要

Cisco Unity Connection のユニファイドメッセージユーザーのメールボックスは、1つの Exchange サーバーから別のサーバーに移動できます。何らかの理由で、ある Exchange サーバーから別のサーバーにメールボックスを移動する場合があります。組織の既存の Exchange 環境に最新のサポートされているバージョンの Exchange サーバーを追加した後で、ユーザーのメールボックスを最新バージョンに移動する場合がありますを考えてみましょう。

ユーザーのメールボックスをあるバージョンの Exchange から別のバージョンに移動するには、Unity Connection ユーザーの特定の設定を更新する必要があります。これにより、Unity Connection がユーザーのメールボックスの移行を自動的に検出できるようになります。Unity Connection がメールボックスの移行を検出できない場合、ユニファイドメッセージユーザーの既存のメールボックスを、移行された Exchange サーバー上の新しいメールボックスと手動で置き換える必要があります。

Exchange メールボックスの移動後にユーザー設定を更新する

「[ユニファイドメッセージングを設定する](#)」の章で説明しているように、管理者は Exchange で1つまたは複数のユニファイドメッセージング サービスを作成することができます。以下は、Exchange メールボックスが移動された後に、Unity Connection がユーザー設定を手動で更新する方法を識別する2つの設定です。

- Unity Connection による Exchange サーバーの検索 : Unity Connection による Exchange サーバーの検索を許可すると、メールボックスを別のバージョンの Exchange に移動した際に、Unity Connection は自動的にそれを検出し、Unity Connection のサーバー設定を自動的に更新します。

- Unity Connection は特定の Exchange サーバーを選択する：特定の Exchange サーバーを選択すると、Unity Connection は Exchange サーバーから別のサーバーへのメールボックスの移動を検出するか、検出に失敗するかのいずれかになります。管理者は、特定の Exchange サーバーにアクセスするために、古いユニファイドメッセージアカウントを新しいユニファイドメッセージアカウントと手動で置き換える必要があります。



- (注)
- Unity Connection がメールボックスの移動を自動的に検出できない場合は、[Exchange メールボックスの移動後に Unity Connection ユニファイドメッセージングアカウントを置き換える](#)の項を参照してください。
 - Unity Connection がメールボックスの移動を自動的に検出した場合は、[Exchange メールボックスを新しい Exchange サーバーに移動する](#)の項のページ 5-2 を参照してください。

表 1: Unity Connection が Exchange サーバー間のメールボックスの移動を検出したときは、Unity Connection が Exchange サーバー間でのメールボックスの移動を自動的に検出できる場合とできない場合のシナリオを示しています。

表 1: Unity Connection が Exchange サーバー間のメールボックスの移動を検出したとき

特定の	Unity Connection は、次の Exchange バージョン間でのメールボックスの移動を自動的に検出できます		
	2010 および 2010	2010 および 2013	2013 および 2013
Exchange 2010 サーバー	可	不可	不可
Exchange 2013 サーバー	可	可	可

Exchange メールボックスを新しい Exchange サーバーに移動する

組織では、Exchange メールボックスを新しいサーバーに移動することで、Exchange サーバーを追加できます。Exchange メールボックスが、シングルインボックスに設定された Unity Connection ユーザーに関連付けられている場合、メールボックスを移動する前に、Unity Connection が必要とする権限を付与する必要があります。そうしないと、Unity Connection ユーザーは新しいロケーションからボイスメールにアクセスできません。これは、Unity Connection が Exchange サーバーを検索することを許可するか、Unity Connection が特定の Exchange サーバーと通信するように設定するかに関係なく当てはまります。

Exchange サーバーに応じて必要な権限を付与する方法については、「[Active Directory にユニファイドメッセージングを設定する](#)」、[ページ 2-5](#) の項を参照してください。



- (注) 新しい Exchange サーバーにアクセスするには、新しいユニファイドメッセージング サービス アカウントを作成するか、または既存のユニファイドメッセージング サービス アカウントに必要な権限を付与する必要があります。

Exchange メールボックスの移動後に Unity Connection ユニファイドメッセージング アカウントを置き換える

Unity Connection が Exchange メールボックスの移動を検出できず、Unity Connection ユーザーの Exchange メールボックスのロケーションを自動的に更新できない場合に、管理者が行う必要がある手順を以下に示します。

1. 新しいメールボックスの場所にアクセスする新しいユニファイドメッセージング アカウントを手動で作成します。
2. メールボックスの古い場所にアクセスしたユニファイドメッセージング アカウントを削除します。



注意 影響を受けるユーザーの Exchange メールボックスを移動して Unity Connection の設定を更新する間、Unity Connection はボイスメールと対応する Exchange メールボックスとを同期しません。

Exchange メールボックスを移動した後、次の手順を実行して Unity Connection ユニファイドメッセージング アカウントを置き換えます。

ステップ 1 [Exchange メールボックスの移動後にユーザー設定を更新する](#)を確認し、お使いの Exchange の設定で、Unity Connection がメールボックスの移動を自動的に検出できるかどうかを判断してください。

ステップ 2 次のいずれかのステップを実行します。

- Unity Connection がメールボックスの移動を検出できる場合は、この手順の残りをスキップします。
- Unity Connection がメールボックスの移動を検出できない場合は、[ステップ 3](#)に進みます。

ステップ 3 Unity Connection で現在ユニファイドメッセージング サービスが提供されていない Exchange サーバーに Exchange メールボックスを移動した場合は、サービスを作成します。詳細については、「[メールサーバーにアクセスするためのユニファイドメッセージング サービスを作成する](#)」の項を参照してください。

ステップ 4 ユーザーに新しいユニファイドメッセージング アカウントを作成し、メールボックスの移動先である新しい Exchange サーバーにアクセスするユニファイドメッセージング サービスを選択します。詳細については、『[ユーザーのユニファイドメッセージ アカウント](#)』、[ページ 2-30](#) の項を参照してください。

- ステップ 5** メールボックスが移動された元の Exchange サーバーにアクセスしたユニファイドメッセージングアカウントを削除します。
- Cisco Unity Connection Administration で、[ユーザー (Users)] を展開し、[ユーザー (Users)] を選択します。
 - [ユーザーの検索 (Search Users)] ページで、ユーザーのエイリアスを選択します。
 - [ユーザーの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューから [ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。
 - [ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)] ページで、削除するユニファイドメッセージングアカウントのチェックボックスをオンにします。 [選択項目の削除] を選択します。
- ステップ 6** Exchange メールボックスを移動したユーザーに対して、[ステップ 3](#) から [ステップ 5](#) を繰り返します。

Exchange メールボックスを復元する

Unity Connection で Exchange メールボックスを復元するには、ユーザーの現在のユニファイドメッセージングアカウントのバックアップを取る必要があります。次のセクションでは、個々のユーザーまたは複数のユーザーのユニファイドメッセージング機能を復元する方法を示します。復元中の最も重要な点は、シングルインボックスを無効にして、Exchange と Unity Connection の間の同期を停止することです。

Microsoft Exchange メールボックスを復元するためのタスクリスト

- 選択したユーザーまたはユニファイドメッセージングサービスに対して、シングルインボックスを無効にします。詳細については、[Unity Connection のシングルインボックスを無効にする](#)の項を参照してください。
- Exchange メールボックスを復元します。詳細については、該当する Microsoft のドキュメントを参照してください。
- 適用可能なオプションを選択してシングルインボックスを再度有効にします。
 - Unity Connection Administration を使用して、個々のユーザーのシングルインボックスを無効にした場合は、[個々のユーザーに対してシングルインボックスを無効にする](#)の項を繰り返します。ただし、[Unity Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングルインボックス) (Synchronize Unity Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスをオンにします。
 - ユニファイドメッセージングサービスのシングルインボックスを無効にした場合、[すべてのユーザーに対してシングルインボックスを無効にする](#)を繰り返します。このとき、[Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングルインボックス) (Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックス、または [有効 (Enabled)] チェックボックスのいずれかを選択します。

- 一括管理ツールを使用して、個々のユーザに対してシングルインボックスを無効にした場合、一括管理ツールを使用して、**選択した多数のユーザーのシングルインボックスを無効にする**を繰り返します。しかし、enableMbxSynch の値を **1**に変更します。

Exchange メールボックスの復元前にシングルインボックスを無効にする

Exchange メールボックスおよびその他のユニファイドメッセージング サービス機能が復元されている Unity Connection ユーザーのシングルインボックスを無効にする必要があります。シングルインボックスが無効になっていない場合、バックアップが開始されてから復元が完了するまでの間に、Connection は受信したボイスメールを同期することができません。

シングルインボックスが無効な場合の同期キャッシュの動作

Unity Connection は、Exchange に転送済みのボイスメールを追跡する同期キャッシュを管理します。シングルインボックスを無効にすると、同期キャッシュが自動的に消去されます。

シングルインボックスが無効な場合の同期キャッシュの動作を理解するには、次の手順を実行します。

1. Exchange サーバーのバックアップを取得します。
2. 新しいボイスメールが着信します。
3. Unity Connection は、ボイスメールを Unity Connection ユーザーに関連付けられた Exchange メールボックスと同期します。
4. Unity Connection は、メッセージが Exchange と同期されたことを示すために、ユーザーの同期キャッシュを更新します。
5. Exchange サーバーのハードディスクが故障します。
6. 故障したハードディスク上に Exchange メールボックスがあった Unity Connection ユーザーのシングルインボックスを無効にできます。
7. Unity Connection は、そのユーザーの同期キャッシュを消去します。
8. ハードディスクを交換し、ステップ 1 で作成したバックアップから Exchange を復元します。
9. そのユーザーに対してシングルインボックスを再び有効にしました。
10. Unity Connection は、現在 Exchange にあるボイスメールと同期キャッシュの比較を定期的に実行します。
11. キャッシュが空のため、Unity Connection は、Unity Connection メールボックスにあるが Exchange メールボックスにないボイスメールは、Exchange と同期されていないと判断します。

12. Unity Connection は Unity Connection メールボックスを Exchange メールボックスと再同期し、同期キャッシュを再構築します。

シングルインボックスが有効な場合の同期キャッシュの動作

Unity Connection ユーザーのシングルインボックスを無効にせずに Exchange メールボックスを復元すると、Unity Connection は復元元のバックアップ以降に受信したすべてのボイスメールを削除します。シングルインボックスの同期キャッシュの動作を理解するには、次のステップを実行します。

1. Exchange サーバーのバックアップを取得できます。
2. 新しいボイスメールが着信します。
3. Unity Connection は、ボイスメールを Unity Connection ユーザーに関連付けられた Exchange メールボックスと同期します。
4. Unity Connection は、メッセージが Exchange と同期されたことを示すために、ユーザーの同期キャッシュを更新します。
5. Exchange サーバーのハードディスクが故障します。
6. ハードディスクを交換し、1 で作成したバックアップから Exchange を復元します。
7. Unity Connection は、現在 Exchange にあるボイスメールと同期キャッシュの比較を定期的に行います。2 に届いたボイスメールは、関連する Unity Connection ユーザーの Exchange メールボックス内にありません。
8. Unity Connection は、ボイスメールがすでに Exchange と同期されていると判断し、メッセージを Exchange メールボックスに再同期しません。

Unity Connection のシングルインボックスを無効にする

Exchange メールボックス復元の最初のステップは、シングルインボックスを無効にすることです。復元する Exchange サーバーの数、または復元が Unity Connection 機能に与える影響に応じて、次のいずれかの方法でシングルインボックスを無効にすることができます。

少人数の Exchange メールボックスを復元する

少数のユーザーのために Exchange メールボックスを復元している場合、Unity Connection Administration を使用して、個々のユーザーアカウントのシングルインボックスを無効にできます。 [個々のユーザーに対してシングルインボックスを無効にする](#) を参照してください。

すべてのユニファイドメッセージングユーザーに対して、または Unity Connection 機能に問題がない場合に Exchange メールボックスを復元する

次のいずれかの条件に該当する場合、すべてのユニファイドメッセージングユーザーのシングルインボックス機能を無効にすることができます。

- ユニファイドメッセージング サービスに関連付けられているすべてのユーザーのメールボックスを復元する場合。

- ユニファイドメッセージングサービスに関連付けられた選択したユーザーのメールボックスを、シングルインボックストレイ機能を中断してもユーザーへの影響が少ない非営業時間帯に復元する場合。

ユニファイドメッセージングサービスのシングルインボックスを無効にするには、2つの方法があります。

- **ユニファイドメッセージングサービスのシングルインボックスのみを無効にする**：シングルインボックスだけを無効にした場合、Unity Connection の会話は、他のユニファイドメッセージング機能のオプションを再生し続けます。Exchange が利用できない間にユーザーがこれらの機能の1つを選択すると、Unity Connection の会話が、この時点ではメッセージへのアクセスは利用できないことを通知します。
- **ユニファイドメッセージングサービス全体を無効にする**：ユニファイドメッセージングサービスでテキスト読み上げや連絡先インテグレーションなどの他のユニファイドメッセージング機能が有効になっている場合にサービスを無効にすると、ユニファイドメッセージングサービスが再度有効になるまで、Unity Connection の会話でそれらの機能のオプションが再生されなくなり、ユーザーが混乱する可能性があります。

詳細については、[すべてのユーザーに対してシングルインボックスを無効にする](#)の手順を参照してください。

Unity Connection 機能に問題がある場合、ユニファイドメッセージングサービスに関連付けられている一部のユーザーの Exchange メールボックスを復元する

ユニファイドメッセージングサービスに関連する多数のユーザー用の Exchange メールボックスを復元する場合、以下の両方の条件に該当する場合、一括管理ツールを使用して個々のユーザーのシングルインボックスを無効にすることができます。

- ユニファイドメッセージングサービスには、復元していないメールボックスのユーザーも含まれます。
- 営業時間中にメールボックスを復元しているとき、復元していないメールボックスを所有するユーザーへの影響を最小限に抑えたい場合。

個々のユーザーに対してシングルインボックスを無効にする

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[ユーザー (Users)] を展開し、[ユーザー (Users)] を選択します。[ユーザーの検索 (Search Users)] ページで、変更するユーザーアカウントのエイリアスを選択します。
- ステップ 2** [ユーザーの編集 (Edit Users)] ページで、[編集 (Edit)] メニューで [ユニファイドメッセージング アカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。ユーザーのシングルインボックスを有効にするユニファイドメッセージングアカウントを選択します。
- ステップ 3** [Unity Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングルインボックス)] チェックボックスをオフにします。
- ステップ 4** 保存を選択します。

すべてのユーザーに対してシングルインボックスを無効にする

ステップ5 残りのユーザーに対してステップ1 からステップ4 を繰り返します。

すべてのユーザーに対してシングルインボックスを無効にする

ユニファイドメッセージングサービス全体を無効にするには、[有効にする (Enabled)] チェックボックスをオフにします。

ステップ1 Unity Connection 管理で、[ユニファイドメッセージング (Unified Messaging)] を開き、[ユニファイドメッセージング サービス (Unified Messaging Services)] を選択します。

ステップ2 [ユニファイドメッセージングサービスの検索 (Search Unified Messaging Services)] ページで、変更するユニファイドメッセージングサービスのエイリアスを選択します。

ステップ3 このユニファイドメッセージングサービスに関連付けられたユーザーのシングルインボックスを無効にするには、[Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングルインボックス) (Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスをオフにします。

ユニファイドメッセージングサービス全体を無効にするには、[有効にする (Enabled)] チェックボックスをオフにします。

ステップ4 保存を選択します。

ステップ5 シングルインボックスを無効にする他のユニファイドメッセージングサービスに対して、ステップ1 からステップ4 を繰り返します。

一括管理ツールを使用して、選択した多数のユーザーのシングルインボックスを無効にする

ステップ1 Cisco Unity Connection の管理で、[ツール (Tools)] を選択し、[一括管理ツール (Bulk Administration Tool)] を選択します。

ステップ2 [操作の選択 (Select Operation)] で、[エクスポート (Export)] を選択します。

ステップ3 [オブジェクトタイプの選択 (Select Object Type)] で、[ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。

ステップ4 ユニファイドメッセージングアカウントのエクスポート先となる CSV ファイルのファイル名を指定します。

ステップ5 [送信 (Submit)] を選択します。

ステップ6 画面上の指示に従って、CSV ファイルを保存します。

ステップ7 CSV ファイルを開きます。

ステップ8 シングルインボックス機能を無効にするユーザーの場合、enableMbxSynch の値を 0 に変更します。

ステップ9 Cisco Unity Connection の管理で、ツール (Tools) > 一括管理ツール (Bulk Administration Tool) を選択します。

ステップ10 [オペレーションの選択 (Select Operation)] で、[更新 (Update)] を選択します。

ステップ11 [オブジェクトタイプの選択 (Select Object Type)] で、[ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。

ステップ 12 [ステップ 8](#) で更新した CSV ファイルの名前を指定します。

ステップ 13 [送信(Submit)] を選択します。

一括管理ツールを使用して、選択した多数のユーザーのシングルインボックスを無効にする

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。